

直前アドバイス センター試験のチェック事項

1. 試験前

①時間に余裕をもって行動する

交通機関の乱れが発生する場合も多いので、時間に余裕をもって出発するようにしましょう。試験会場はあらかじめ下見しておくといいでしょう。

②試験当日の受験科目変更は不可

試験当日に受験科目を変えることは出来ませんので、確実に出願時に選んだ科目を受験するよう注意してください。

2. 試験中

待ち時間は表紙の注意事項を熟読する

問題が配られてから試験開始までは時間があります。この時間に問題の表紙に書いてある注意事項を確認しましょう。特に問題のページをチェックし、解き間違いがないように注意しましょう。

※受験する科目を間違えないように！特に以下の科目について、同一の問題冊子に編集されているためよく確認してください。

「数学Ⅰ」と「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」と「数学Ⅱ・数学B」
「倫理」と「倫理、政治・経済」「日本史A」と「日本史B」

3. 試験会場にて

①休み時間は余裕を持って使う

会場のお手洗いはかなり混むので、時間に余裕を持って行くようにしましょう。

②当日も体調管理を行う

試験当日は想像以上に体力を消耗します。休み時間のうちに水分補給をしたり、チョコレート等で糖分補給をしておくことをおすすめします。また、教室によっては暑い・寒い等ありますので、着脱しやすい服装で会場に行きましょう。

4. 試験後

①前の科目の出来不出来に一喜一憂しない

受験科目がまだ残っている場合、前の科目の出来不出来に気を取られず、次の科目で最大限得点できるように心の準備をしましょう！

②2日目が終わるまで採点しない

センター試験は2日間あります。2日目がある人は、1日目の採点をせずに2日目に臨みましょう！
(採点をしてしまうと気持ちの上がり・下がり激しくなり、試験に集中できなくなってしまうため。)

直前アドバイス センター試験の持ち物リスト

番号	チェック欄	持ち物	番号	チェック欄	持ち物
1	✓	受験票	11	✓	健康保険証(急病に備えて。コピーでも可)
2	✓	腕時計	12	✓	携帯電話・スマートフォン(ホテルや大学の連絡先も登録。試験中は必ず電源を切ること)
3	✓	防寒具 (カイロ、上着、手袋など)・雨具 ※英語や地図が書かれているものは避けること	13	✓	ノートなど
4	✓	筆記用具 (鉛筆・消しゴムは多めに) 小型鉛筆削り	14	✓	参考書(必要最低限のものに絞る)
5	✓	受験会場周辺の地図	15	✓	募集要項
6	✓	昼食・飲み物	16	✓	学生証・生徒手帳
7	✓	常備薬・のど飴	17	✓	乗車券・特急券・航空券 ※
8	✓	現金(多すぎず少なすぎず)	18	✓	着替え※
9	✓	ハンカチ・ティッシュ・マスク	19	✓	宿泊クーポン ※ (または予約確認メールのプリントアウトなど)
10	✓	(会場によっては)上履き・ビニール袋	20	✓	洗面用具 ※

※ 遠方の生徒のみ

直前アドバイス 体調管理に気を付けよう

1. 規則正しい生活を送ろう

起きてから全力を出せるようになるまでは約3時間が必要です。
センター試験が開始する9時半に本気になれるよう、6時起床を普段から徹底しましょう。

2. 風邪の予防

どれほど勉強しても、当日が体調不良では全てを発揮するのは難しくなってしまいます。体調に異変を感じたら無理をせず、十分に休息を取る勇気を持ちましょう。

**キミのセンター試験が最高の結果になるよう
応援しています！
頑張れ！ 受験生！！！！**

直前アドバイス センター試験が終わったら

「答案再現システム」を利用しよう！

センター試験の解答を入力すると、自動採点および、
合否判定を行います。積極的に活用しましょう！

答案再現・合否判定システムの特長

- ① 国公立大/センター試験利用私大6大学、一般私立大6大学。
合わせて12大学の合格判定。
- ② 中2日の短期間で合格判定。
- ③ 中3日で成績帳票を学力POSから返却。

登録期間： 20日(月)24:00まで

登録方法： 学力POSから登録可能

判定結果： 22日(水)

※判定が出たらメールにてお知らせします。

判定内容					大学名順
1	東京大学	理科一類	前期	2019/1/1登録	B
総合得点	AP判定(50%)	CP判定(50%)		判定詳細	
68.9	70.6	★(達成)			
総合得点予想	2次必須得点	センター正解得点			
379.0/550	249.6/440	100.9/110			
2	東京医科歯科大学	医 医	前期	2019/1/1登録	C
総合得点	AP判定(50%)	CP判定(50%)		判定詳細	
68.7	70.7	★(達成)			
総合得点予想	2次必須得点	センター正解得点			
365.0/540	212.4/360	165.0/180			
。 東北大学	理 生物系	前期			

センター試験が終わったら
遅くとも翌日から二次・私大試験の対策へ
頭を切り替え次の試験に集中しよう！

バックナンバー

受験生のみなさん、

「センター試験の3カ条」

お伝えします

詳細はCLICK!

■ 解答の順番・大問の通過時間を設定

■ 大問全体の出題内容を見てから解く

■ マーク位置・内容および設問条件の見直し

直前アドバイス

センター試験 解き進め方3カ条

東進独自の過去問演習・合否データなどから見える
本当に合格するために必要な学習ポイント

これを知っているかいないかで、入試結果が変わる！

第一条 解答の順番・大問の通過時間を設定

第二条 大問全体の出題内容を見てから解く

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

第一条 解答の順番・大問の通過時間を設定する

1. 解く順番を事前に設定する

- ・得意な大問順に解く
- ・配点が高い順に解く

といったように、**最も高得点が期待できる順番**は何かを考えて解く。

⇒解く順番を設定したら、安定して得点できるかを別の年度で検証

⇒うまくいかなければ、原因を分析して、順番を修正する

※試験本番では、「形式が前年度から変更していないか」を問題を解く前に必ず確認

× 解く順番を設定しない
= 高得点を取れる機会を失う



第4問の整数の性質が得意なだけで、最後に解くからいつも解く時間が無くなってしまう…

数 I ・ A	内容	解答順番
第1問	数と式、集合と命題、二次関数	1
第2問	図形と計量、データの分析	2
第3問	場合の数と確率	3
第4問	整数の性質	4

○ 解く順番を設定する
= 高得点を取れる機会を逃さない



第4問の「整数の性質」は、毎回満点を取れるから、一番最初に解こう！そのあとは次に得意な第2問の「図形と計量、データの分析」を解いていこう！

数 I ・ A	内容	解答順番
第1問	数と式、集合と命題、二次関数	3
第2問	図形と計量、データの分析	2
第3問	場合の数と確率	4
第4問	整数の性質	1

第一条 解答の順番・大問の通過時間を設定する

2. 各大問の見切り方を身に付ける

1問完答しても、その問題に制限時間の大半を使っては合格できない

- ① 毎回過去問を演習する際、大問ごとにかかった**時間を記録**しておく
- ② 記録をもとにどの問題にどれだけ時間をかけるか、**時間の目安**を決め、**通過時間(問題を見切って、次の問題に移る時間)**を設定する
- ③ 過去問演習中も通過時間に達したら、その問題を見切り、次にいく習慣をつける

× **通過時間を設定しない**
= 全大問に触れられず、無駄な失点が発生する



第1-3問まで完璧に解き終わったぞ！
あれ!? 試験終了まで残り5分しかない…

英語	内容	配点	解く時間	通過時間
第1問	発音・アクセント	14	?	?
第2問	文法・語法、整序英作文、英文完成	47	?	?
第3問	不要な文の選択・内容の要約	33	?	?
第4問	図表を使った説明文読解	40	?	?
第5問	小説・物語文の読解	30	?	?
第6問	説明的文章の読解	36	?	?

○ **通過時間を設定する**
= 全大問に触れるため、無駄な失点が発生しない



第1問は2分、第2問は13分、第3問は15分で解こう！長文問題の第4-6問、時間もかかるから、試験開始してから、35分立ったら、絶対に第4問に移るぞ！

英語	内容	配点	解く時間	通過時間
第1問	発音・アクセント	14	2分	試験開始から2分後に通過
第2問	文法・語法、整序英作文、英文完成	47	13分	試験開始から15分後に通過
第3問	不要な文の選択・内容の要約	33	20分	試験開始から35分後に通過
第4問	図表を使った説明文読解	40	12分	試験開始から47分後に通過
第5問	小説・物語文の読解	30	10分	試験開始から57分後に通過
第6問	説明的文章の読解	36	18分	試験開始から75分後に通過
	見直し		5分	

直前アドバイス センター試験 解き進め方3カ条

東進独自の過去問演習・合否データなどから見える
本当に合格するために必要な学習ポイント

これを知っているかいないかで、入試結果が変わる！

第一条 解答の順番・大問の通過時間を設定

第二条 大問全体の出題内容を見てから解く

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

第二条 大問全体の出題内容を見てから解く

いきなり問題を解き始めるのではなく、形式や大問全体で問われている内容を確認して、解答を始める

- 英語の第6問(説明的文章の読解)は、
 - ① 各設問を確認し、前年の形式と同じかを確認する
 - ② 「問われている内容」と「答えの位置」を確認する
 - ③ リード文を読む
 - ④ 選択肢から解答を決定する

※上記はあくまで一例です。自分にあったベストな解き方で問題を解きましょう。

英語 第6問【説明的文章の読解】

問 1 Which of the following is closest to the meaning of the underlined word imperative in paragraph (1)?

問 2 According to paragraph (2), which of the following statements is true?

問 3 Why is the example of Edo introduced in paragraph (3)?

問 4 What does paragraph (5) tell us about routes?

問 5 What is the main point of this article?

B 次の表は、本文のパラグラフ(段落)の構成と内容をまとめたものである。
 ~ に入れるのに最も適当なものを、下の①~④のうちから一つずつ選び、表を完成させよ。ただし、同じものを繰り返し選んではいけない。



① まずは、設問をチェックしよう！

- ・ 問 1 は、「パラグラフ 1」に登場する「単語の意味と近い単語」を選択
- ・ 問 2 は、「パラグラフ 2」で述べられている「正しい」文を選択
- ・ 問 3 は、「パラグラフ 3」にEdoが「例示されている理由」を選択
- ・ 問 4 は、「パラグラフ 5」でroutesについて「何と」説明されているか
- ・ 問 5 は、「文章全体」の要点について選択
- ・ B問題は、パラグラフに即したテーマの選択
⇒例年と同じ形式ということを確認したぞ！

② 解答がある位置を確認しよう！

- ・ 問 1 は、「パラグラフ 1」
- ・ 問 2 は、「パラグラフ 2」
- ・ 問 3 は、「パラグラフ 3」
- ・ 問 4 は、「パラグラフ 5」
- ・ 問 5 は、「文章全体」
- ・ B問題は、「各パラグラフ」に答えがあるはずだ！

③ リード文を読んで解答するぞ！

直前アドバイス

センター試験 解き進め方3カ条

東進独自の過去問演習・合否データなどから見える
本当に合格するために必要な学習ポイント

これを知っているかいないかで、入試結果が変わる！

第一条 解答の順番・大問の通過時間を設定

第二条 大問全体の出題内容を見てから解く

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

君には合格点を取るだけの力が付いている



1点でも多く得点するにはミス無くすること



【見直しを徹底する】

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

- **必ず選択した記号が正しいか、適切な位置にマークされているかをチェックする**
 - ✓「問題用紙で解いた時の自身の解答」と、「解答用紙に書いてある解答」が一致しているか
 - ✓解答番号とマークした解答用紙の番号が一致しているか
- **解答用紙に記入した直後に、設問文の要求・問題条件をもう一度読む**
 - ✓間違っている選択肢を選ぶ問題なのに正しいものを選んでいないか
 - ✓解答すべきマーク数は適切か

次ページから注意すべき内容をまとめましたので、確認しましょう。

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

◆ 解くべき科目を間違いないよう要注意

- 数Ⅰと数Ⅰ・Aは同じ問題冊子
- 数Ⅱと数Ⅱ・Bの同じ問題冊子
- 日本史Bと日本史Aは同じ問題冊子
- 世界史Bと世界史Aは同じ問題冊子
- 地理Aと地理Bは同じ問題冊子

数 学 ① [数学Ⅰ・数学A] (100点 / 60分)

I 注意事項

- 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
数 学 I	4~22	左の2科目のうちから1科目を選択し、 解答しなさい。
数学Ⅰ・数学A	23~43	

- 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の第1解答科目欄・第2解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世 界 史 A	4~23	受験できる科目数は、受験票に記載されて いるとおりです。
世 界 史 B	24~47	
日 本 史 A	48~73	なお、以下の組合せは選択できません。 ・「世界史A」と「世界史B」 ・「日本史A」と「日本史B」 ・「地理A」と「地理B」
日 本 史 B	74~103	
地 理 A	104~133	
地 理 B	134~167	

※解く科目のページを必ず確認すること

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

◆ 誤りを含むもの・適当でないものを選択

化学

問 5 溶解に関する記述として、**誤りを含むもの**を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 固体の臭化ナトリウムを水に入れると、ナトリウムイオンと臭化物イオンはそれぞれ水分子に囲まれた水和イオンとなって溶解する。
- ② 多くの水溶性の固体の水に対する溶解度は、水温が高くなるほど大きくなる。
- ③ 塩化水素を水に溶かすと、H-Cl間の結合が切れて電離する。
- ④ エタノールは、極性溶媒である水に溶ける。
- ⑤ 四塩化炭素は、無極性溶媒であるヘキサンに溶けない。

生物

問 5 下線部①に関連して、生物の変遷に関する記述として、波線部**誤りを含むもの**を、次の①～⑦のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。 ・

- ① カンブリア紀に出現した生物群として、エディアカラ生物群やバージェス動物群などが知られている。
- ② 古生代デボン紀には、魚類の一部から、肺をもち、ひれが四肢に変化し、陸上生活ができるようになった両生類が出現した。
- ③ 古生代石炭紀には、高さ数十mもあるリンボクなどのシダ植物が大森林を形成し、その枯死体はやがて石炭となった。
- ④ 中生代には、爬虫類が多様化・大形化し、地上では恐竜類が繁栄した。
- ⑤ 中生代には、子房がむきだしの裸子植物が繁栄し、乾燥地や寒冷地を含む陸上の広い地域に進出した。
- ⑥ 新生代には、ものを立体視できる眼や指先に平爪をもった霊長類が出現した。
- ⑦ 新生代には、被子植物や哺乳類が繁栄し、地球上の様々な環境に適応していった。

地理B

問 5 北極海の海水分布域は季節変動し、9月に最小となる。次の図6は、北極海および周辺地域における海水分布について、2012年9月の分布域と、1981～2010年における9月の平均的な分布域の境界線*を示したものである。図6に関して、北極海および周辺地域の環境変化やその影響について述べた文として下線部が**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。

*中央値を用いて推定したもの。

日本史B

問 6 下線部①に関して述べた文として、**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 財政が悪化した朝廷は、公営田や官田(元慶官田)を設置して、財源確保をはかった。
- ② 班田収授を励行させるため、班田の期間を12年ごとに改めたが、班田の実施は困難になっていった。
- ③ 開発領主たちの中には、国司の干渉から逃れるため、所領を中央の貴族や寺社に寄進するものがあつた。
- ④ 官物や臨時雑役などの税が、土地を対象に課されるようになったことで、戸籍にもとづく支配が強化された。

※設問文を必ず確認すること

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

◆ 解答を2つ選択

問 3 実験 1・実験 2 の結果に関する記述として適当なものを、次の①～⑥のうちから**二つ選べ**。ただし、解答の順序は問わない。 4 ・ 5

- ① 種 A は、鉢内塩分濃度が最も高いとき、耐塩性が最も低い種だった。
- ② 種 B は、鉢内塩分濃度が中程度 (0.7%) のとき、耐塩性が最も高かったが、競争力は最も低い種だった。
- ③ 種 C は、鉢内塩分濃度が 0% のとき、種間競争がなければ最も現存量が大きいが、種間競争下では最も現存量が小さい種だった。
- ④ 種間競争がない場合、鉢内塩分濃度の増加によって現存量が増加した種とそうでない種があった。
- ⑤ 鉢内塩分濃度が 0% のとき、種間競争のある状態とない状態との現存量の差は、 $B < C < A$ の順に大きくなった。
- ⑥ 種間競争のある状態では、それぞれの種の現存量が最大になる鉢内塩分濃度と、優占度が最大となる鉢内塩分濃度は一致した。

問 6 この文章の表現に関する説明として適当なものを、次の①～⑥のうちから**二つ選べ**。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は 19 ・ 20。

- ① 2 行目「空地利用しようか」では「ー」を使用し、また 4 行目「茄子やトマトなんかを。」では述語を省略することで、菜園を始める際の会話部分をテンポよく描き、妹の快活な性格を表現している。
- ② 25 行目「それは、六月の中旬。」、37 行目「多磨墓地前で停車。」、「次が北多磨。」などの体言止めの繰り返しによって、〇君と一緒に是政に行く旅が、「私」にとって印象深い記憶であったことを強調している。
- ③ 35 行目「サアサアと音を立てながら」、83 行目「ポツリ、ポツリと、部屋々に灯がつきはしめ」、93 行目「ポクポク歩いている」など、カタカナ表記の擬音語・擬態語を使うことで、それぞれの場面の緊迫感を高めている。
- ④ 44・45 行目や、60 行目における月見草の匂いの有無に関する叙述は、110 行目の、「私」が網棚から月見草を下ろすときに「ふんとかくわしい香りがした」という嗅覚体験を際立たせる表現となっている。
- ⑤ 75 行目「疲れていた。寒かった。おなか为空いていた。」という部分は、短い文を積みかけるように繰り返すことで、「私」の状況が次第に悪化していく過程を強調する表現になっている。
- ⑥ 82 行目「建物は、腐をもった骸骨のように見え」、95 行目「私を迎えるように頭を並べて咲き揃っている」のように、比喩を用いることによって、「私」の心理を間接的に表現している。

※設問文を必ず確認すること

第三条 マーク位置・内容および設問条件の見直し

◆ マーク位置に注意

- 解き切れずに問題をスキップした場合は、マーク位置に注意。

◆ 解き忘れた問題がないかを確認

- ページ飛ばしをしていないか確認
 - ✓ 特に最後の大問を解いたあとは、**背表紙がでてくるまで、念のため問題用紙をめくること。**
- **意図的に飛ばした(=あとで解こうと判断)問題を解いているかを確認**